

# JFM だより

Vol.07  
Autumn 2013

今号の表紙

## 福岡県宮若市 生涯学習センター「宮若リコリス」

JFMトピックス	P1
融資の実(今号の表紙)	P3
がんばる公営競技	P7
自治体ファイナンスよもやま話	P9
地方支援ダイアリー	P11
人事交流日記	P13
特集 / JFM債をご紹介します	P14
私たちがJFM債買ってます	P15
JFMからのお知らせ	P15

地方の、地方による、地方のための



地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities

# 24年度 JFM業務のご報告



おかげさまで、地方公共団体金融機構(JFM)は  
設立より5年が経過しました。

## 地方公共団体への貸付けを 着実に実施

平成24年度は、JFM設立以来最大となる**1兆8,864億円**(前年度比4.6%増)の貸付けを実施いたしました。

上下水道事業や病院事業、合併特例事業など幅広い事業を対象としています。

特徴として、東日本大震災に係る復旧・復興事業や全国的に緊急に実施する緊急防災・減災事業の貸付合計額が1,086億円と大幅に増加したことがあげられます。

### 貸付けの概況

(単位：億円)

	H23	H24	増減
貸付額	18,041	18,864	823
貸付回収金	16,485	16,051	△434
貸付金残高	223,874	226,686	2,812

### 貸付額の推移と内訳



JFMはこれからも  
「地方の、地方による、地方のための」  
機関として役割を果たします！

## 補償金免除繰上償還を実施

旧公庫資金の補償金免除繰上償還(※)に応じ、繰上償還に必要な資金の一部について貸付けを実施しました。

※国の政策として実施される公債費負担対策の一環として、過去に借り入れた高金利の公的資金の繰上償還を行う際に必要となる補償金を免除するもの。

《参考》 対象となる地方債の利率：5%以上  
平成24年度JFM貸付利率：1.50%(注)

(注)H25.3.19時点

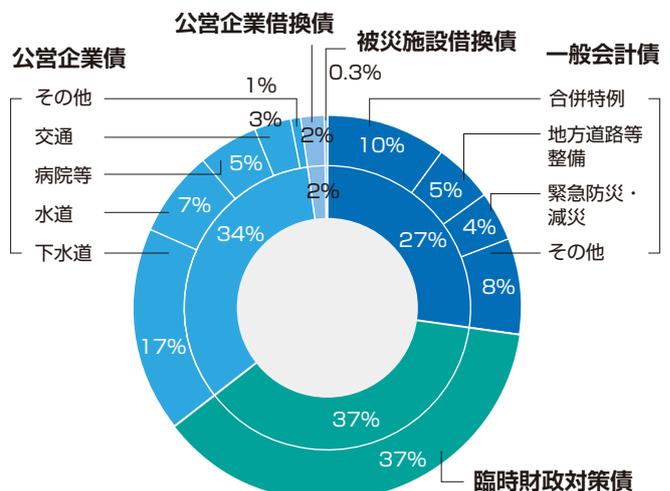
「機構特別利率 固定金利方式 30年償還(うち5年据置)」の場合

### 補償金免除繰上償還額

(単位：億円、団体)

	H22	H23	H24
繰上償還額	1,302	987	642
うちJFM借換債	671	592	393
団体数(延べ)	239	321	225

### 平成24年度事業別貸付割合 総額1兆8,864億円



## 地方支援業務がさらに充実

平成24年度は、業務開始から3年目を迎えた地方支援業務についてより内容の充実を図り、個別の地方公共団体のニーズに応じてきめ細やかに支援を提供しました。

「それぞれの自治体にとってのより良い資金調達・資金運用」のお手伝いをしています。

### 人材育成

出前講座  
共催研修（宿泊研修）



H24の出前講座は42箇所で開催し、574団体、1,838人が受講しました。

### 実務支援

自治体ファイナンス・アドバイザーによる助言  
住民公募債発行支援  
地方公営企業会計制度見直し支援



個別のアドバイスをご提供しています。  
電話やメール、訪問等ご要望に応じます。

### 調査研究

資金調達のあり方などの調査研究  
フォーラムの開催

### 情報発信

経済・金融データ等の提供



フォーラムの資料・講演録や経済・金融データはJFMのHPに掲載しています。

平成25年度は資金調達入門研修を初めて開催する等更に支援内容を充実させています。



## 資金調達手段の多様化

平成24年度におけるJFMの債券発行総額は2兆5,268億円（前年度比24.8%増）となりました。国債を除くと、1機関が発行する債券としては国内最大クラスです。

平成24年度には、初めての取組みとして、国内では、7年・15年債をスポット債として350億円を発行し、国外では、10億米ドルの非政府保証ベンチマーク外債や個人投資家向け売出外債を発行し、資金調達手段の多様化に努めました。

NEW

JFMにとって非政府保証では初めてとなるまとまったロットでの公募外債です

NEW

### 豪ドル建てでの発行

証券会社から個人投資家が購入できるものです。

### 個人投資家向け売出外債の概要

名称	地方公共団体金融機構 2018年3月23日満期 豪ドル建債券
発行日	2013年3月25日
償還日	2018年3月25日
利率	年3.65%
利払日	2013年9月23日及びそれ以降の 毎年3月/9月の23日（年2回）



安定的な資金調達を行うため、投資家層の拡大に努めています。

## 平成24年度決算

～引き続き健全な財務基盤を維持～

貸付金利息の減少等により、経常利益は減少しましたが、2,130億円を計上し、引き続き高い水準を維持しています。

法令の規定により債券の借換えによる収益は公庫債権金利変動準備金に積立てることとされており、積立て等を行った結果、当期純利益208億円を計上しています。

平成24年度は機構法附則第14条の規定に基づき、地方交付税への活用のため、3,500億円を国庫に納付しましたが、引き続き約4兆円の準備金等強固な財務基盤を有しています。



財務諸表はHPでご覧になれます。  
[www.jfm.go.jp](http://www.jfm.go.jp)

### ■損益

（単位：億円）

	H23 決算	H24 決算	増減
経常収益	5,118	4,871	△ 247
経常費用	2,817	2,740	△ 77
経常利益	2,300	2,130	△ 170
当期純利益	216	208	△ 8

### ■資産・負債・純資産

（単位：億円）

	H23 決算	H24 決算	増減
資産総額	233,407	237,049	3,642
（主なもの）			
貸付金	223,874	226,686	2,812
負債総額	232,470	235,913	3,444
（主なもの）			
債券	181,766	186,764	4,997
特別法上の準備金等	41,048	39,470	△ 1,578
純資産総額	936	1,135	198



僕が融資した  
事例を  
紹介するよ!

## 生涯学習センター 「宮若リコリス」

年間を通じてほぼ一定している地中の温度(15℃前後)と地上の気温との差を空調エネルギーの一部に利用するシステムを導入。さらに、より効率的な空調が行える「床面ふく射熱冷暖房」も採用して省エネルギー化を進めています。

リコリスのキャラクターは宮若市の特産品である「追い出し猫」をモチーフに、宮若市出身のイラストレーター・作家・俳優として活躍するリリー・フランキーさんがデザインしています。

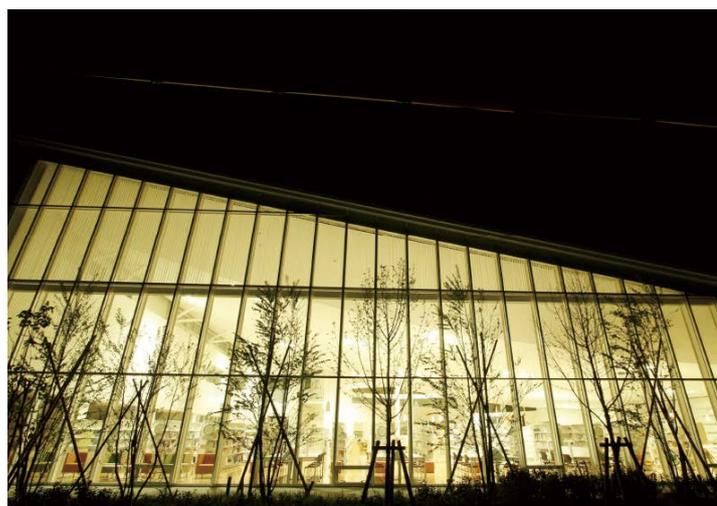
今号の表紙

# 福岡県宮若市が目指す 新たなふるさとづくりの中核施設

## 生涯学習センター「宮若リコリス」&「光陵グリーンスタジアム」



福岡県の2大都市、福岡市と北九州市の間に位置する宮若市は、平成18年に宮田町と若宮町が合併して誕生しました。そして、これを機に今後のまちづくりの目標として掲げたのが「ひと・みどり・産業が輝く新たなふるさと」という将来像。以来、目標の実現に向け施設や制度の拡充を積極的に進めており、JFMの融資(合併特例債)を活かして平成24年に完成した二つの施設も、宮若市のまちづくりの中で重要な役割を果たしています。



## まちづくりのために力を注ぐ青少年の育成

宮若市が掲げる「ひと・みどり・産業が輝く新たなふるさと」というまちづくりの目標。この中の「みどり」には、地域にある豊かな自然や農業をこれからも守り育てていこうという意味が込められています。また「産業」とは、福岡、北九州の両市に近い地の利を活かし、企業誘致を活発化してまちの発展につなげること。市内には、今では43万台体制にまで規模を拡大したトヨタ自動車の生産拠点が平成4年から稼働しており、他のメーカーの工場も近隣にあることから、自動車関連企業の誘致などが期待されます。

そして、みどりを育て産業を広げる上での要となる

のが「ひと」であり、宮若市は未来を担う青少年の育成と若い世代の定住の促進に力を注いできました。その一環として市の東西を結ぶ「青少年育成ゾーン」を設けて各種の施設を整備。「西鞍の丘総合運動公園」、若宮コミュニティセンター「ハートフル」、そして今回ご紹介する、平成24年にオープンした宮若市生涯学習センター「宮若リコリス」および「光陵グリーンスタジアム」を含む宮若市東部総合運動公園「光陵グリーンパーク」が中核的な施設となっています。

## 宮若リコリス 施設案内図



### 1階平面案内図



### 2階平面案内図



子育て支援センター

## 子育てママの強い味方「宮若リコリス」

宮若市役所の隣に位置する「宮若リコリス」は、図書館を核にした生涯学習センターで、延べ床面積の半分近くを図書館エリアが占めています。2階までの吹き抜けや大きな窓が特徴的で、エントランスホールとの間にもドアなどの仕切りがなく、わずかにBGMが流れているなど、静寂を重んじる一般的な図書館とは少し異なる雰囲気。司書の方たちも来館者への挨拶や声がけを積極的に行っており、この図書館をよりオープンで親しみやすい場所にしようと努めていることがうかがえます。

宮若リコリスにはこの他、子育て支援センター「たんぽぽ」があり、図書館でも児童書の充実に注力。保育士が常駐する「たんぽぽ」で子育ての悩みを相

談したり、他のお母さん方と情報交換を行ったり、図書館で子供と一緒に本を楽しんだり。ともすれば孤立しがちな育児中のママにとって、リコリスは心強い存在になっています。

エントランスホールで目を引く白いグランドピアノは、依頼したプロや公募で選んだ市民による演奏会(約2ヵ月に1回開催)で使われる他、週に1度、施設開館時に生演奏で来館者をお出迎えするのも活躍しているとのこと。今後は研修室での市民向け講座の開催なども計画しており、宮若リコリスは市民に愛される施設としてさらに魅力を磨いていくはず。

# 「光陵グリーンスタジアム」



外野の観客席にはトヨタ自動車が開発した「TM9」という芝を採用。伸びが遅いため芝刈りの回数を減らすことができ、管理コストの低減に結びついています。



宮若市東部総合運動公園「光陵グリーンパーク」では、グリーンスタジアムの完成に続き多目的グラウンドの工事が進んでいます。さらにテニスコートや芝生広場が整備される予定です。

## プレーも観戦も楽しい「光陵グリーンスタジアム」

「光陵グリーンスタジアム」は両翼98m、センター122mのグラウンドを整え、福岡県で8ヵ所目の公認規格を有する野球場として誕生しました。硬式野球の試合を行えるため、市や県を超えて野球関係者の注目を集め、これまで中学硬式野球の九州選手権、全国高校野球九州大会予選、大学野球のリーグ戦などさまざまな公式戦が行われてきました。こうしたレベルの高い試合が毎週のようにあることで、設備の充実した球場でプレーする喜びだけでなく、「観戦」の楽しみも光陵グリーンスタジアムは市民に提供しているのです。

先に整備された「西鞍の丘総合運動公園」の天然芝サッカー場では、少年サッカー九州大会のような

大きな大会が開かれており、グリーンスタジアムも野球を通して市外・県外の方たちとの交流を活性化することが期待されています。子供の野球大会の付き添いで訪れ宮若市を知る。子育て世代への支援の充実ぶりを知り、家賃補助制度\*を利用して賃貸住宅に住んでみる。そして、現在市が進めている住宅団地に我が家を持つ。宮若市ではこうしたステップで若い世代の定住人口を増やす計画を立てており、宮若リコリスや光陵グリーンスタジアムは「新たなふるさと」づくりのために重要な役割を果たしていくことになります。

\*宮若市では平成25年度より、新婚世帯および、就学前の子どもがいて市内へ転入する世帯が民間賃貸住宅で暮らす場合の家賃補助を行っている

### 宮若市 便利帳



#### 宮若市ホームページ

<http://www.city.miyawaka.lg.jp/>

#### 宮若市公式Facebook

<https://www.facebook.com/city.miyawaka>

#### 広報誌「宮若生活」

バックナンバーをWEBで読むことができます。



#### 宮若リコリス

〒823-0011 福岡県宮若市宮田6番地1

#### 光陵グリーンスタジアム

〒823-0004 福岡県宮若市磯光1668番地2

宮若市に関するお問い合わせ先

宮若市役所本庁 総務部 総合政策課 秘書広報係

電話：0949-32-0512

FAX：0949-32-9430



## 自治体や地域住民に貢献する公営競技

### 福岡ポート

## レースの迫力を目の前で 来場の促進に努める都市型ボートレース場



ベラ坊



←隣接するベラポート福岡

### 地の利を活かしてビギナーを開拓

ボートレース福岡(以下福岡ポート)の最大の特長は、福岡市の繁華街、天神から徒歩約10分、天神北ランプからすぐという立地の良さにあり、周辺の福岡都市圏からも多くのお客さまに來場していただいております。

平成23年4月に外向発売所「ベラポート福岡」を開設し年間約350日の発売体制を整えた効果もあり、23、24年度と2年続けて場内売上日本一を達成しました。しかしファンの高齢化や固定化、場内來場者の停滞はここでも大きな課題となっており、その打開に向けて取り組みを進めています。

新規ファンの開拓については、企業誘致の活発化や大学の多さなどで都市圏内に人口流入が続いている利点を活かすべく、初心者教室を月3～4回開催するなど、若い世代にボートレースの魅力を広める努力を続けています。24年度は約1,200名が参加しました。

また、収益金が小、中学校の教育施設をはじめ、道路、福祉施設、住宅など公共施設の整備に充てられるなど、ボートレース福岡が市民生活の向上に寄与していることも積極的にPRしているところです。

### 周辺地域から、海外からも來場者を増やす

アジアの玄関口・福岡ならではの取り組みが、外国人への呼びかけ。地元の多言語ラジオ局「LOVE FM」とタイアップした初心者教室を開催し、留学生などにボートレースの認知度を高めています。

一方、周辺地域での新規ファンの掘り起こしのため力を注いでいるのが団体ツアーです。職場や地域の仲間と一緒に施設見学をし、レースを楽しんでもらうことでボートレースの魅力を知っていただいています。

選手たちが水しぶきを上げて疾走し競う、まさに水上の格闘技。その迫力を目の前で見て感じてほしいからこそ、お客さまにレース場に来ていただくことにこだわるボートレース福岡。カップルや家族からも「楽しかった、また来たいね。」と言っていただくために、今、イベントや施設のさらなる充実を目指しています。



他の公営競技と同じく、ファンの高齢化や売上の停滞といった課題を抱えながら、全国24場の連携と差異化によって現状の打破に努めるボートレース。その中から今回は、福岡および芦屋ボートの動きを取り上げます。

## 芦屋ボート

### 朝から楽しめる「モーニングレース」 充実した施設は初心者にもベテランにも



アシ夢



↓併設するイベントホール「夢リア」  
大型モニターで観戦できるほか  
様々なイベントにも活用



#### 公営競技初のモーニングレースを開催

ボートレース芦屋(以下、芦屋ボート)では、平成22年7月に公営競技界で初めて朝9時(現在は8時30分)からのモーニングレースを開始しました。

開催に向けて、全国の電話投票ファンに「芦屋でモーニングが始まった」ことを知らせるため、ネット上で大々的なキャンペーンを実施したほか、軽食を提供する「モーニングサービス」や指定席料金の優遇などにより場内への呼び込みにも力を注ぎました。それから3年、芦屋ボートの「サンライズレース」は全国に浸透し、モーニングレースも3ヵ所の競走場で開催されています。



#### スタンド対岸から観戦できる外向発売所

平成22年にボートレース場では珍しい、スタンドの対岸から観戦できる外向発売所「アシ夢テラス」を開設しました。コアなファンからは「レースの分析に役立つ」、初心者からも「気軽に観戦できる」と好評で、芦屋ボート全体の売上増にも大きく貢献しています。

さらに、来場促進の一環として来場数や有料席の利用などでポイントが貯まり各種賞品と交換できる「アシ夢カード」もスタート。場内で過ごす楽しさを高めるため「食」の充実にも力を入れ、24年からレストランや売店を公募により、民間企業に一括運営しており、場内の統一感を出すなど、より戦略的な運営を行っています。

積極施策が功を奏し始めている芦屋ボートですが、本格的な来場者増や収益アップには道半ば。朝一番と昼休みどきのレースはA級1人にB級5人の選手構成で気軽に予想して楽しんでいただくなど、一日の生活の変化に合わせてレース内容を工夫し、投票する喜びをより多くの方に実感していただくことにも努めています。

「より良い資金調達」の  
ための「3つのポイント」  
をお教えします!

自治体ファイナンス・アドバイザー



## 堀内 聡

今回は、岐阜県各務原市の資金調達における「カイゼン活動」と利率見直し交渉をご紹介しました。各務原市の取組からは、自らの自治体にとっての「より良い資金調達」の実現を目指すうえでの3つのポイントを読み取ることができます。今回はこの3つのポイントについてお話しします。

## ポイント1 ～自らの資金調達の現状を知ろう

皆様が見知らぬ街で道に迷った際には、お巡りさんやその街の方に「今、自分がその街のどこにいるのか?」を尋ねたうえで、「今いるところから目的地までどう行けば良いか?」を尋ねるかと思えます。

この例と同様に、「より良い資金調達」という目的地を目指すうえでの第1歩となるのが、自らの資金調達の現状を知ることです。JFMだよりvol.03の本コーナーで、「借入利率が、その借入を行った時点の、借入期間(注1)と同じ残存期間の国債の流通利回りと比較していくら上乗せされているのか?」という「上乗せ幅(スプレッド)」に着目して借入条件を分析することで、借入時点が異なる借入どうしを

同じ土俵で比較できるとお話ししました。この分析は、「借入利率=借入日時点(又は条件決定日時点)の国債の流通利回り+スプレッド」ととらえ、スプレッドの大小をもって、個々の借入の「良し・悪し」を定量的に判断するものです。

各務原市では、近隣自治体を対象にアンケートを実施して各自治体の借入のスプレッドを算出し、自らの借入のスプレッドと比較することで、近隣自治体と比較した「自らの資金調達の現状」を把握しました(図表1)。これに加えて、自らの過去の借入のスプレッドと現在の借入のスプレッドとを比較することも、「自らの資金調達の現状」を把握するには有益です。

図表1 岐阜県各務原市と近隣4市の借入のスプレッド比較

	各務原市	A市	B市	C市	D市
発行額(千円)	1,000,000	304,700	810,700	73,600	46,400
起債種別	合併特例債 学校教育施設等整備事業債	合併特例債 公共事業等債	合併特例債	学校教育施設等 整備事業債	一般単独事業債
償還方法	元金均等半年賦	元利均等半年賦	元金均等半年賦	元利金等半年賦	元利金等半年賦
償還年限	15年	15年	15年	10年	30年
据置期間	3年	1年	無し	2年	5年
利率見直し	有り(7年経過時)	無し	無し	無し	無し
借入利率(%)	0.295	0.900	0.790	0.620	1.900
平均償還年限(年)	6.247	8.256	7.630	6.213	13.758
対国債スプレッド(%)	-0.072	0.245	0.227	0.198	0.621
入札実施の有無	実施	実施	実施	実施	実施
その他条件等	貸付上限金額の設定を認めている。利率を多段階に分けて入札することを認めている。	無し	貸付上限金額の設定を認めている。	無し	無し
入札参加金融機関数	11	7	5	8	5

\*出典:「銀行等引受債の現状と課題～岐阜県各務原市」(各務原市都市戦略部企画財政総室財政課長 常木孝浩氏講演資料)  
<http://www.jfm.go.jp/financing/pdf/support/H24/forum/14.tsuneki.pdf>

注1. ここで言う「借入期間」とは、満期一括償還や定時償還といった償還方法の違いを考慮した「平均償還年限」ととらえる必要があります。また、スプレッドに着目した借入条件の分析手法については、実務テキスト「実践 金利計算～自分で金利計算ができるようになろう～」(<http://www.jfm.go.jp/support/pdf/support/H24/jinzai/3.kinri-keisan.pdf>)をご参照ください。

注2. 各チェックポイントごとに考慮すべき事項などは、筆者の論稿「資金調達マメ知識 第11回 お金を借りる際、どのように借りたら良い?(下)」(ぎょうせい「地方財務」2013年2月号所収)をご参照ください。

## ポイント2 ～自ら考え、自ら行動しよう

各務原市の「カイゼン活動」では、償還方法、償還期間、利率の決め方、借入時期、据置期間などについて、「何故、自分たちは現在のやり方を採用しているのか？」を自らに問いかけることで、「カイゼン」の糸口を見つけています。図表2は同市の「カイゼン活動」を参考に作成したチェックポイントです(注2)。もし、皆様がこのチェックポイントに答えていくなかで、「過去からずっとそのようにしているが、理由は明確に分からない。」というポイントがあれば、そこにより良い資金調達の実現に向けた「カイゼン」の糸口が隠れているかもしれません。

また、各務原市では、見つけた「カイゼン」の糸口をそのままにするのではなく、それぞれについて「自らにとってのより良い資金調達」の実現のために「カイゼン」という行動に移しています。「カイゼン」の糸口の中には、すぐにできることばかりではなく、ある時期が来たら取り組むことや、引き続き詳細な議論を経たうえで取り組むべきこともあるでしょう。したがって、全てを一気に「カイゼン」することは難しいでしょうが、できることから「カイゼン」という行動に移していくことは、とても大事なことだと思います。

### 図表2 「カイゼン」の糸口を見つけてみよう!～チェックポイント

#### ☑ チェックポイント1(借入時期)

地方債の起債時期をどのように決めていますか?  
また、そのように決めている理由は何ですか?

#### ☑ チェックポイント3(償還方法)

定時償還の場合、据置期間をどのように決めていますか?また、そのように決めている理由は何ですか?

#### ☑ チェックポイント5(指標金利)

国債や全国型市場公募地方債、共同発行市場公募地方債の利回りなどを指標金利として、それにスプレッド(上乗せ幅)を加える形で借入利率を決定している場合、指標金利は借入期間や償還方法を考慮したものとなっていますか?

#### ☑ チェックポイント2(借入期間)

地方債の借入期間をどのように決めていますか?  
また、そのように決めている理由は何ですか?

#### ☑ チェックポイント4(条件決定日から借入日までの期間)

条件決定日から借入日までの期間をどのように決めていますか?また、そのように決めている理由は何ですか?

## ポイント3 ～金融機関との円滑なコミュニケーション

各務原市は、金融機関との利率見直し交渉を通じて、金融機関からの要望やそれぞれの金融機関の置かれた状況などの「生の声」に触れ、金融機関とのコミュニケーションの強化の必要性に言及しています。

自治体の資金調達における民間等資金の市場が持続的に発展するためには、借り手である自治体と貸し手である金融機関とが「共存共栄」であることが必要です。そのため、自治体と金融機関の双方がコミュニケーションを

重ねることで、お互いの置かれた状況や立場を理解することが、今まで以上に重要となってきます。日々の業務多忙のなかで時間を捻出するのは難しいでしょうが、借入交渉時や決算公表時などの機会をとらえて、金融機関の方とコミュニケーションを取り、彼らの「生の声」に触れてみましょう。そうすることで、より良い資金調達の実現に向けた新たな「気づき」が得られるかもしれません。



資金調達・運用でお困りのことがありましたら  
私達、JFM「自治体ファイナンス・アドバイザー」  
にご相談ください!!

地方支援部 TEL:03-3539-2676

地方支援を利用してみよう！  
vol.7

お手伝いします！



# 地方金融に関するフォーラムを開催しています

自治体の資金調達のあり方など地方金融に関する総合的な研究を推進するため、平成22年度より東京大学に寄付講座を開設し、その研究や議論の成果を自治体に還元することを目的として、定期的にフォーラムを開催し、自治体や金融機関の方など多くの方にご参加いただいています。

今回は、自治体の皆様にとって身近な「銀行等引受地方債」、「住民参加型市場公募地方債」をテーマに開催したフォーラムの様子や実績をご紹介します。

## 第14回フォーラム 平成24年11月6日(火) 銀行等引受地方債の現状と課題

それぞれの自治体から銀行等引受地方債の現状・課題、改善に向けた取組、今後の方向性などについての報告をもとに議論が展開されました。

### 相模原市

引合方法の改善、融資団の編成、信用力の強化などを通じた資金調達の安定性の確保に向けた取組について、ご報告いただきました。

### 各務原市

銀行等引受地方債の現状の要因分析と課題に対する今後の方向性についてお話をいただくとともに、利率見直しの交渉、据置期間の短縮、借入時期の分散など、個別の見直し状況についてもご紹介いただきました。



## 第18回フォーラム 平成25年7月2日(火) 住民参加型市場公募地方債の展望

平成14年に発行が開始された住公債における現状の課題と今後の展望について、各自治体からの報告をもとに活発な議論が交わされました。



### 鶴岡市

平成25年4月に発行した同市初の住公債「クラゲドリーム債」の発行に係る取組について、住公債が資金調達の一手段であるとともに、地域活性化の有効なツールとして活用できることを実績を交えてお話しいただきました。

### 兵庫県

10年以上にわたり定期的に発行を継続している「兵庫県民債」、「兵庫のじぎく債(兵庫県市町共同公募債)」について、販売の低迷、発行額の低下、共同公募債の参加団体数の伸び悩みといった直面する課題への対応策について、お話をいただきました。

## 《これまでのフォーラム実績》 開催場所:東京大学(本郷キャンパス)

年度	回数	テーマ	年度	回数	テーマ
H22	第1回	平成23年度の地方債計画と地方財政対策	H24	第10回	アメリカ合衆国における州・地方政府の財政状況と財政破綻
	第2回	地方債市場の現状と課題		第11回	アメリカ合衆国の州・地方政府における資金調達マネジメント
H23	第3回	地方債市場の国際比較		第12回	欧州債務問題と日本の地方債制度
	第4回	地方債の格付けをめぐる諸問題		第13回	地方公共団体における減債基金の収益性向上の取り組み
	第5回	市場公募地方債の展望		第14回	銀行等引受地方債の現状と課題
	第6回	地方債格付けとソブリン危機の影響		第15回	第三セクター等改革と資金調達手法の模索 -改革推進債とレベニュー信託
	第7回	銀行等引受債の発行の取り組み		第16回	地方債計画と地方財政計画
	第8回	地方財政計画、地方債計画と地方債協議制度の見直し		第17回	北欧モデルから考える地方の資金調達の在り方 -スウェーデン・デンマーク調査報告
H24	第9回	地方公営企業会計の見直しと地方債		第18回	住民参加型市場公募地方債の展望

平成25年度の下半期からは東京以外でもフォーラムを開催します。  
日程:平成25年11月21日(木) 会場:神戸市



### お知らせ 第2回シンポジウム「地方債市場の展望」を開催します

これまでの18回のフォーラムを総括するとともに、地方債市場の現状と課題を整理し、今後のフォーラムにつなげるため第2回シンポジウムを開催します。

日時:平成25年9月17日(火) 14:00開場

場所:東京大学(本郷キャンパス)

プログラム: 報告「地方債の新たな取り組み」

基調講演「日本経済の展望」

パネルディスカッション



第1回シンポジウムの様子

テーマ:変革期の地方債市場 平成22年12月1日(水)

ホームページもぜひご覧ください

これまでの実績紹介や参加者の声、出前講座や実務支援の詳しいご紹介などを掲載しています。是非ご覧ください。

JFMホームページ

<http://www.jfm.go.jp/>

地方公共団体金融機構

検索

\*お問い合わせやお申し込みはこちら\*

地方支援部 調査企画課 / ファイナンス支援課

03-3539-2676 chihoushien@jfm.go.jp

## 人事交流日記 第7回

## 高知県庁から派遣 経理課 奥宮 裕之

高知県から派遣され、JFM2年目となりました。

現在は経理課に所属し、公営競技納付金関連業務や国際会計基準導入に係る影響調査などを担当しています。

会計や金融といった今まで馴染みのない知識が必要なため、日々頭を悩ませながらも新鮮な思いで仕事を行っています。

地方、国、民間といった様々な団体から来ている方々と各団体特有の考えや視点に基づいて一緒に仕事をしていくことは、自治体の中だけでは味わうことの出来ない貴重な経験になっていると思います。



## 福岡県苅田町から派遣 融資課 村上 篤史

平成24年4月に福岡県苅田町から派遣でJFMに来て、今年で2年目になります。

融資課では、貸付利率の算定及び融資審査を主に担当しています。

貸付利率の算定は、複雑な計算を行うため当初は驚きましたが、貸付利率はお借入先の今後の償還額に関係するため、毎回細心の注意を払いながら算定を行っています。

融資審査は、全国の方々から色々なお話をお伺いでき、また、JFMでは全国から来られた方々と一緒に働くことができるので、派遣元にはない刺激があります。そして、赴任地が東京のため心配もありましたが、東京での生活をとおして派遣元を見直すいい機会となり、一地方公務員としてはとても勉強になっています。今後はこの経験を、是非とも派遣元に還元したいと思います。



## 長野県庁から派遣 リスク管理統括課 野澤 俊一郎

長野県からJFMに派遣され、2年目となりました。

現在、JFMでは、「業務・システムの抜本の見直し」プロジェクトを進めており、全ての業務・システムの見直しをしています。リスク管理統括課では、システム開発に係るスケジュール管理や各種調整等の業務を担当しております。

金融・会計・内部監査の観点等、様々な観点でものを見なくては、よいシステムを構築することはできませんので、多くの専門の方々に囲まれながら、日々過ごしています。このような機会にはなかなかめぐり合うことはできませんので、大変貴重な経験であり、充実した日々を過ごしています。



## 岐阜県庁から派遣 資金課 宮島 壮史

岐阜県からJFMに派遣されて2年目になりました。

資金部資金課に所属し、地方公共団体の皆さまにご融資させていただくための資金を低コストで安定的に調達するべく、国内での債券発行を担当しております。

当初は、ベンチマークやスプレッドといった債券に関わる専門用語にとまどいましたが、周囲に支えられながら、今では基本的な用語なら自然体で使えるようになりました。

債券発行は、市場の需給に左右されるため、市場実勢を踏まえた運営が求められます。今年度においては、異次元金融緩和を受けて難しい起債環境が続いていますが、地方の地方による地方のためのJFM職員の一員として、確りと低コストで安定的な債券発行に努めてまいります。



# JFM債をご紹介します

JFMでは、地方公共団体への貸付資金の財源を確保するため、資本市場からの資金調達を行っています。

5年債、10年債、20年債といった多様な年限の債券を定例的・計画的に発行するとともに、スポット債、フリップ債、国外債といった機動的・弾力的な債券発行を行っています。

## JFM債の特色!

高い流動性

投資家ニーズに対応した商品

投資しやすい予見性の高い債券発行

リスクウェイト0%の地方公共団体のみへの貸付債権を裏付けとするJFMの発行する債券は、極めて信用力が高く、その多様性などから、「スーパー地方債」としての性格を有するものと言えます。

※ 格付け：S&P (AA-)、Moody's (Aa3)、R&I (AA+) JFM債は、**国債と同じ国内最高水準の格付けです** (H25.8.28現在)。

## 様々な債券を発行しています!

詳細はHPをご覧ください([www.jfm.go.jp](http://www.jfm.go.jp))



### ■10年債、20年債、5年債

主幹事方式により定例的に発行する債券です。10年債については原則、国債入札日の1週間後に条件決定し、毎月発行しています。20年債については四半期に2回程度、5年債については年2~3回程度発行しています。

なお、8月に発行した10年債については、第329回10年利付国債より7.0bp(0.070%)高い利回りに設定されています。

※ 条件決定時の第329回10年利付国債:0.771%  
8月発行10年JFM債利回り:0.841%

### ■フリップ債 (FLIP:Flexible Issuance Program)

投資家ニーズに応じて年限や発行額を設定して発行するJFM独自の債券です。年限は3年~30年(うち、一部の年限は除きます)、1回の発行額は30億円以上です。

### ■国外債

平成24年1月から、国外においても政府保証のないJFM債を発行しています。国内の個人投資家向けの売出外債を発行する等、調達の多様化に取り組んでいます。

### ■スポット債

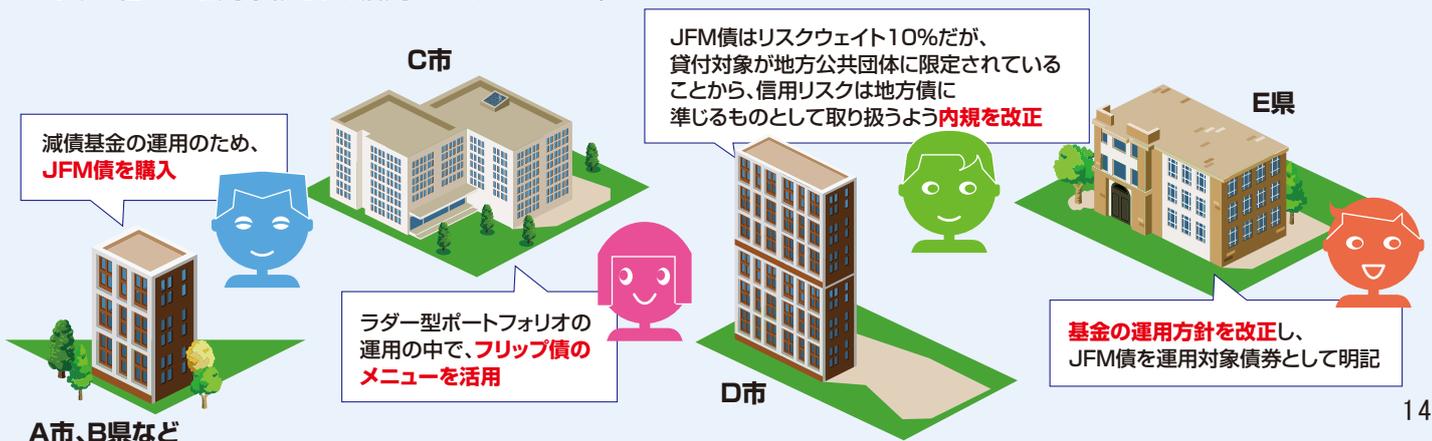
定例債と異なる年限で、主幹事方式により発行する債券です。平成24年度は、7年債及び15年債を各1回ずつ、平成25年度は、3年債を1回発行しています。

※その他、「地方公務員共済組合連合会の引受けによる債券」や「政府保証債券(10年、8年、6年、4年)」の発行も行っております。

## 資金運用のお役に立っています!

**5年、10年などの期間での資金運用を行う場合には、是非ご確認ください**

減債基金等の積立金の運用に当たって、JFM債は安全で有利な運用手段です。地方公共団体において、以下のような取り組みや運用手段として活用いただいています。



# 計画的な資金運用にJFM債の活用を!

- JFM債の購入資金は、地方公共団体へのご融資を通じて、地域に還元されています。
- 安全で効率的な運用のお手伝いをします。
- 定期的に発行している10年債、20年債のほか、運用ニーズ(金額、期間等)に応じた債券を随時発行しています。

※ご購入にあたっては、お近くの証券会社にお問い合わせください。

私たちも!  
JFM債買ってます!

## 福岡県

総務部財政課  
堤さん



福岡県では、県債の満期一括償還に必要な財源を確保し、将来にわたる県財政の健全な運営に資するため、減債基金の積立てを行っています。その運用にあたっては、安全性の確保を第一に、効率的な運用に努めることを基本方針としています。その中でも、JFM債は安全かつ長期的な運用が期待できる運用商品として活用しています。

現在、福岡県では、誰もがこの県に生まれて良かった、生活して良かったと実感できるような、「県民幸福度日本一」の県を目指して、県民生活の「安定」、「安全」、「安心」の向上を図る取組みを進めているところです。今後、一層の取組みの充実を図るため、JFM債の運用益を役立てて参ります。

## JFMからのお知らせ



### 写真募集中

JFMでは、広報誌の表紙や、ホームページのトップページに掲載する写真を募集しています。

<http://www.jfm.go.jp/>



### JFMに対するご意見をお寄せください

「がんばる公営競技」のコーナーにつきまして、皆様からの記事募集を行っています。また、他のコーナーにつきましても、掲載希望や内容に関するご質問がありましたらお寄せください。

ご連絡先

経営企画部企画課広報担当

TEL: 03-3539-2674

mail: info@jfm.go.jp